

高田公園の観桜会イベントで陸上自衛隊が武装行軍

装甲車を連ね迷彩服で小銃を携行

4月20日、高田公園観桜会イベントに際して、陸上自衛隊高田駐屯地の部隊が市中パレードを行いました。これは、自衛隊協力会などが「観桜会と来年行われる高田開府四百年を盛り上げる」として、自衛隊のパレード実現を市に要請し、要請を受けた市では、上越観光コンベンション協会や上越商工会議所と協議して決定したものだということです。

民や観光客に対して威圧的にならないよう配慮してほしい」と協力を求めたということです。

上野議員に対する市の説明では、自衛隊音楽隊や災害救助に關係する特殊車両などがパレードに参加するということでした。

しかし実際には、迷彩服に小銃携行、しかも装甲車両が参加するなど、まさに市民に威圧感を与えるものとなり、観桜会のイベントにはふさわしくないパレードでした。

観閲台には村山上越市長や田中上越商工会議所会頭らが立ちました。

観桜会に訪れ市民や観光客からは、「異様な感じがした」ということですが、なぜこうした時期に武装パレードなの



前日の19日に上野議員が市観光振興課に問い合わせたところ、市では「自衛隊パレードの要請に対して、限られたエリアと時間の中で、観桜会という催しにふさわしく、しかも観桜会に訪れた市

た」「北朝鮮のキチガイじみたこともあり、かえって刺激するのではないかと心配だ」との声が寄せられました。

市中パレードは41年ぶりというのですが、なぜこうした時期に武装パレードなの

か、どうして観桜会という市民の憩いの行事の場での行軍なのか、大いに疑問です。

来年は高田開府四百年の年ですが、観桜会とも合わせ、再び今回のような出来事にならないようにすべきです。

たことあり、かえって刺激するのではないかと心配だ」との声が寄せられました。

市中パレードは41年ぶりというのですが、なぜこうした時期に武装パレードなの

「原発即時ゼロ」こそ最も現実的で責任ある方向

4.20原発ゼロ学習決起集会

20日午後、長岡商工会議所を会場に「4・20原発ゼロ学習決起集会」が開かれました。全県から150人の県民が集いました。

最初に、「原発をなくす県連絡会」の小市信事務局長が基調報告を行いました。報告では、原子力規制委員会の新「安全基準」は、福島原発事故の原因が究明されていないもとでの小手先のとりあえずの対策を並べたものであることなど、根本的な問題点を指摘しました。また、柏崎刈羽原発のある新潟県で再稼働に毅然として反対し、廃炉を求めるたたかいが急務になっていることを明らかにしました。

そして、6月2日に東京明治公園などで開催される大規模な集会への参加の呼びかけ、東京電力に向けた新しい署名活動の呼びかけなど、当面の活動の提起を行いました。

次に発言に立った日本共産党の井上さとし参議院議員は、「福島では県をあげて原発の存在が復興の障害になっていると言っているのに、安倍政権は『復興には原発が必要』として、原発推進に向けて暴走を始めた」「世論は原発ゼロを求めており、『即時ゼロ』こそ最も現実的で責任ある立場だ」と訴えました。



次に、立石雅昭新潟大学名誉教授が発言に立ち、柏崎刈羽原発の耐震安全性の問題点を指摘しました。また竹島良子日本共産党県会議員が、泉田知事の原発への姿勢が福島原発事故後変化し、再稼働よりも事故の検証が先としていること、その背景には原発ゼロを願う世論の力があることを明らかにしたほか、持田繁義柏崎市議会議員が、原発に頼らない地域経済の再生をめざす地元柏崎の状況を報告しました。

集会では各分野、方面からの報告や説明でこの間の状況と運動の方向性が明らかになり、参加者はお今後の運動の拡大に大いに決意を固めあうものとなりました。

なお、この集会には日本共産党上越市議団を代表して平良木議員が参加しました。

上越では「げんぱつを語らう会」 「つなげよう 脱原発の輪 上越の会」主催

21日には、上越市でも「げんぱつをかたらう会」が行われ、約50人の市民が参加しました。

福島からの避難者や、大人顔負けの活動をしている中学生、ボランティアに参加している市民などから「脱原発」「原発ゼロ」の思いがこもるも語られたあと、市中をデモ行進し、市民に「脱

原発」「原発ゼロ」を訴えました。この会には、橋爪・平良木両議員が参加しました。



日本共産党上越市議員団ニュース

No.361 2013年4月28日

連絡先
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)